



CP1010524 ezoman 2009

立命館大学交響楽団第103回定期演奏会

The 103rd Regular Concert of Ritsumeikan University Symphony Orchestra

シベリウス 交響曲第2番ニ長調

J.Sibelius : Symphony No.2 in D-major

ハイドン 交響曲第101番ニ長調「時計」

J.Haydn : Symphony No.101 in D-major "The Clock"

シューベルト 劇付随音楽「ロザムンデ」序曲

F.Schubert : "Rosamunde" Overture

指揮 大河内 雅彦(客演) 橋詰 智博(学生)

Conductor : Masahiko Okochi Tomohiro Hashizume

2010年5月23日(日)

May 23, 2010

京都コンサートホール 大ホール

Kyoto Concert Hall

開場 17:00 開演 18:00

全席自由 (一部指定)

【一般】1000円 【大学生以下】700円(学生証提示)

*誠に勝手ながら、乳幼児のご入場はご遠慮いただいております。

チケット販売所 ●チケットぴあ(各店舗、ファミリーマート、サークルK・サンクス) / Pコード予約 Pコード:102-994

TEL:0570-02-9999 (24時間受付可)

●立命館大学生協衣笠・BKCプレイガイド、京都コンサートホール

●お問い合わせ <http://ruso.s297.xrea.com/> E-mail ruso_info@yahoo.co.jp TEL:080-1521-5948 (広報・伊藤)

後援：京都府・京都市・京都市教育委員会・京都新聞社・KBS京都



立命館大学交響楽団 (Ritsumeikan University Symphony Orchestra)

立命館大学交響楽団は昭和30(1954)年に創団された。第1回目の演奏会は本学の合唱団との合同開催であったが、その演奏会以降活動を定着させ、昨年(2008年)12月には第100回目の定期演奏会を開催するに至った。草創期の極めて小規模のオーケストラが、現在では常時150人以上の団員を有する学内最大規模の活動団体に成長、年2回の定期演奏会を中心に、「地域に根ざした学生オーケストラ」として京都・滋賀・大阪などで多彩な活動を展開している。

立命館大学の誇る学生団体として各種の学園・大学行事にも参加、定期演奏会もしばしば大学行事として位置づけられている。昭和56(1981)年の「大学創立80周年・衣笠移転事業完成記念 第46回定期演奏会」での「第九」の公演以来、平成6(1994)年には「びわこくさつキャンパス(BKC)および政策科学

部開設記念 第72回定期演奏会」においてマーラーの交響曲第2番「復活」に挑戦、また平成12(2000)年には「立命館創始130年・大学創立100周年 第84回定期演奏会」を成功させてきた。平成9(1997)年、平成11(1999)年には「立命館アジア太平洋大学開学記念事業」として別府市・大分市での演奏会を開催するなど、立命館学園の発展とともにその活動範囲も拡大しつつ「地域に根ざした学生オーケストラ」として、びわこくさつキャンパス(BKC)に近いびわ湖ホールでの定期演奏会開催を定例化、市民の皆様にも好評を博している。

平成16(2004)年には楽団創立50周年を迎え、ドイツを拠点として活躍中の阪哲朗氏に指揮を依頼、楽団4回目の「第九」の公演(第92回定期演奏会)を成功させた。この演奏会を機縁として阪哲朗氏をオーケストラアド

バイザーとして招聘、長期的視点での楽団の育成・強化に取り組み、技術・運営両面でのさらなる活動水準の向上を目指している。この後阪氏とは第100回定期演奏会で共演し高水準の演奏を満場の聴衆に披露した。

昨年度の定期演奏会では金聖賢氏による通年で指導をいただき、ピリオド奏法によるブラームス交響曲第4番や、学生オケでは珍しいブルックナー交響曲第9番の演奏し学生オケにとどまらない水準の音楽表現を目指した。また阪氏との共演による第1回サマーコンサートや、京都駅ビルでのクリスマス野外コンサートを開催、成功させるなど、楽団の活動規模が拡大している。今回の第103回演奏会では、以前に第99回定期演奏会で共演した大河内雅彦氏の指導の下、シベリウス交響曲第2番に挑む。

大河内 雅彦 (Masahiko Okochi, Conductor)

1971年生まれ。愛知県立岡崎高校を経て、東京芸術大学器楽科卒業。

2002年4月より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員として飯守泰次郎・矢崎彦太郎両氏のもとで研鑽を積む。同団副指揮者を経て、2007年6月より、東京シティ・フィルのアソシエイト・コンダクターに就任。この間に同団の100公演を指揮。

またこれまでに、広島交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、大阪市音楽団、シエナ・ウインドオーケストラ、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、東京都交響楽団、神奈川フィ

ルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪シンフォニカー交響楽団を指揮。

これまでに指揮をハンス・グラーフ、カール・エステルライヒャー、湯浅勇治、小松一彦、広上淳一の各氏に師事。第49回ブザンソン国際指揮者コンクールセミファイナリスト。2006年度より上野学園大学音楽文化学部非常勤講師(オーケストラ・管打合奏)を務める。

またこれまでに、多くのアマチュアオーケストラにも関わっており、慶應義塾ワグネルソサエティーオーケストラ、アンサンブル・コンソルテ、新交響楽団等を指揮・指導している。

